

大阪公立大学 国際基幹教育機構 2024 年度 履修証明プログラム
「産学連携教育イノベーター育成プログラム アントレプレナーシップ教育力育成コース」
募集要項

1. 目的

産学の連携により、学生がインターンシップで実社会を経験しながら、社会と結合した大学での学びに注力することが卒業後の活躍につながる社会、リカレント教育など社会人となっても学び続け、チャレンジし続ける時代がようやく到来するなか、重大な岐路を迎えています。このような中で教育・雇用一体改革を軌道に乗せることに貢献すべく、学びと社会をつなぐことにより、学生の大学教育への動機付けを高めるとともに、社会人をリカレント教育へ惹き付けることを目指します。

本プログラムでは、産学が連携して人材と知の循環を促進しつつ、実践的かつ広く深い学びを追求し、学生も社会人も学び続けチャレンジし続ける社会の実現と、未来を拓く人材の各界への輩出のため、その中心的役割を担う実務家教員を育成することを目的としています。

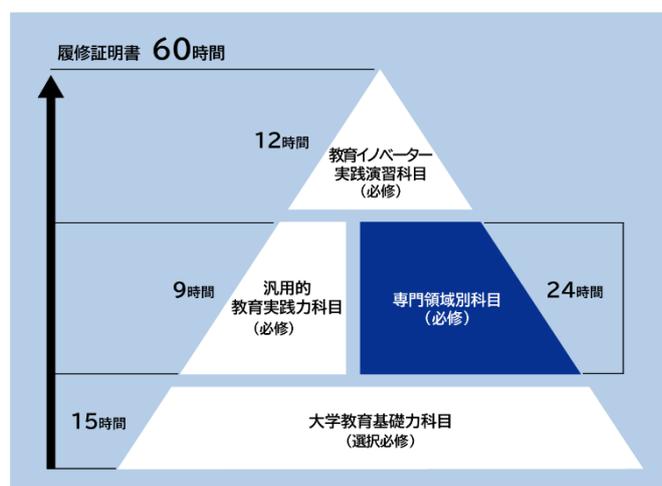
2. プログラム概要：履修証明プログラム「産学連携教育イノベーター育成プログラム」

履修証明プログラムとは、社会人等を対象に大学の教育・研究資源を活かし、一定の教育計画の下に編成された体系的な知識・技術等の習得を目指した教育プログラムで、プログラム修了者には、学校教育法 105 条に基づき履修証明書（Certificate）が交付されます。

「産学連携教育イノベーター育成プログラム」とは、2019 年度文部科学省採択「持続的な産学共同人材育成システム構築事業」の取組「創造と変革を先導する産学循環型人材育成システム」の一環として開発・実施された実務家教員を育成する研修プログラムです。2023 年度に補助事業が終了した後、大阪公立大学においてアントレプレナーシップ教育力育成コースを継続開講します。

アントレプレナーシップ教育力育成コースでは、起業や企業での新規事業開始にあたり必要な基礎知識を学ぶとともに、それらを指導・教育するための手法や技能を習得することを目的とします。本コースでは特に、高度な科学技術研究成果の事業化や産業化を例に、その際の考え方・プロセス、起業に必要な基礎知識を学びます。そして、複数の事例に基づく実践的な演習に取り組むことで、技術マネジメントの幅広い知識とアントレプレナーとして必要な素養の修得、および、その効果的な教育手法の体得を目指します。

プログラムは 4 つの科目で構成されています。まず、大学教員としての教育基礎力（基礎的知識・スキル・態度）をオンラインで学ぶ①「大学教育基礎力科目」（15 時間）を履修したうえで、教育方法のスキルを演習形式で学ぶ②「汎用的教育実践力科目」（9 時間）、汎用的専門性獲得のための「専門領域別科目」（24 時間）を履修します。これらの履修をベースに、教育イノベーターとして活躍していくための資質・能力を確保するための④「教育イノベーター実践演習科目」（12 時間）を履修します。



3. プログラムの達成目標

本プログラムが育成する実務家教員「産学連携教育イノベーター」の人材像に必要な到達目標として、次の3つの学習成果の獲得を掲げています。これらの到達目標については、目標ごとに到達度を示すポートフォリオ評価を添えることにより、プログラム全体の学習成果を明示します。

- ① 大学教員として教育を担うための**基礎的知識・技能・態度を身につける**
- ② **専門領域（汎用的な専門性）における教育実践力を身につける**
- ③ 学びと社会を繋ぐ実践知・学術知往還及び学習成果のエビデンスに基づく教育変革を先導する「**教育イノベーター**」としての**変革力を身につける**

4. 応募資格

下記、①②の両方を満たす者。

- ①大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認められた者
- ②原則として専門的技術的又は管理的な職務において5年以上の実務経験を有する者

5. 定員

25名

6. 費用

- ① 入学金：なし
- ② 受講料：300,000円
- ③ 審査結果通知書と共に振込先をお送りします。指定日（2024年6月14日）までに振込を完了させてください。支払われた受講料は返金いたしません。プログラムを途中で辞退された場合でも同様です。
- ④ その他：集合研修等（演習等）への参加にかかる旅費・宿泊費等は自己負担とします。

7. 厚生労働省「教育訓練給付金」

本プログラム アントレプレナーシップ教育力育成コースは、厚生労働省「教育訓練給付金（特定一般教育訓練）」指定講座です。一定の条件を満たす方が受講・修了した場合、受講料の40%（120,000円）をハローワークから支給します。この場合、最終的な自己負担額は180,000円となります。

※ 受給希望者は、別紙「【受講希望者向け】教育訓練給付制度（特定一般教育訓練）についてのご案内」を熟読し、各自ハローワークにて手続きしてください。

※ ハローワークにおける、本プログラムの受講開始前に必要な手続きの締切は、2024年6月24日（受講開始日1か月前まで）です。合格確定前に手続きを進めておくことが可能ですので、早めの手続きをお勧めします。

8. 応募方法

(1) 応募期間：

一次募集 2024年3月15日（金）～4月21日（日）

二次募集 2024年4月23日（火）～5月6日（月・祝）

(2) 応募書類：

大阪公立大学 産学連携教育イノベーター育成プログラム アン트レプレナーシップ教育力育成コース Web サイト (<https://www.omu.ac.jp/las/jitsumuka/program/entry2024/index.html>) にて応募書類をダウンロードし、必要事項を記載の上、提出すること。

応募フォーム（オンライン）

必要事項を応募フォームに直接入力してください。本人確認のため、写真の提出は必須です。

職歴書（様式あり）

様式をダウンロードし、Microsoft Word もしくは PDF にて応募フォームにアップロードしてください。勤務先・部署・役職・担当業務内容などを記載してください。現在の職務も含め、応募資格②「原則として専門的技術的又は管理的な職務において5年以上の実務経験を有する」がわかるよう記入してください。

志望理由書（様式あり：A4×3ページ以内）

様式をダウンロードし、Microsoft Word もしくは PDF にて応募フォームにアップロードしてください。以下の(1)～(4)の項目を見出しとして設定し、記述してください。

- (1) 仕事と学びに対する関心・経験
- (2) 本プログラムの受講動機と意欲
- (3) 現代の大学教育への関心・問題意識
- (4) プログラム修了後のキャリアに関する抱負

承諾書（様式・内容の規定なし）

※企業などの所属先より派遣される方のみ提出

様式をダウンロードし、Microsoft Word もしくは PDF にて応募フォームにアップロードしてください。所属先の上の承のもと、当プログラムを受講していることの確認書類として、所属部署の長等の承諾書が必要です。

(3) 応募先：

大阪公立大学 産学連携教育イノベーター育成プログラム アントレプレナーシップ教育力育成コース [Web サイト](#) から応募すること。

9. 選考方法

選考基準に基づき、書類審査による選考を行う。

10. 2024 年度スケジュール

(1) 受講者の決定と受講開始までのスケジュール

4 月 21 日	応募締切
5 月下旬	合否結果の通知（メール）
6 月 14 日	受講料振込期限
6 月下旬	受講許可証の発行（郵送）
7 月中旬	OMUID・学習管理システム Moodle ログイン ID 等発行（郵送）

(2) 受講スケジュール

受講期間 2024 年 7 月～2025 年 3 月

受講開始日	2024 年 7 月 25 日（木）
オリエンテーション（対面）	2024 年 7 月 27 日（土）
大学教育基礎力科目（非同期：オンライン）	2024 年 7 月 25 日（木）～10 月上旬
汎用的教育実践力科目（同期：オンライン）	2024 年 9 月～10 月
専門領域別科目（非同期：オンライン、同期：対面・オンラインのハイブリッド形式）	2024 年 11 月～12 月
教育イノベーター実践演習科目（同期：オンライン、対面・オンラインのハイブリッド形式）	2024 年 12 月～2025 年 1 月
修了認定	2025 年 2 月～3 月

詳細は、別紙「科目概要」及び「2024 年度プログラム日程表」を参照してください。

11. 修了要件

- ①開講期間内に本研修プログラムの 60 時間の課程を履修し、全科目に合格すること。
 - ②履修大学において、教授会に相当する機関での認定を受けること。
- ※①②の修了要件を全て満たした場合に、学校教育法第 105 条に基づき大阪公立大学長名で履修証明書が発行されます。

【問い合わせ先】

産学連携教育イノベーター育成プログラム アントレプレナーシップ教育力育成コース事務局

大阪公立大学 高度人材育成推進センター内

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町 1 番 1 号（中百舌鳥キャンパス）

Tel : 072-252-6183 E-mail : las-jitsumuka.ep@ml.omu.ac.jp

電話対応時間 月～金 9:00～12:00、13:00～17:30（祝日を除く）

2024 年度 履修証明プログラム
産学連携教育イノベーター育成プログラム アントレプレナーシップ教育力育成コース
科目概要

①大学教育基礎力科目（計 15 時間：必修）※オンライン非同期型

<p>【目的】 大学で授業を担当するのに必須となる基礎的な知識・技能を修得することを目的とします。</p> <p>【学習目標】 大学教育の動向や大学教員の役割・責務・倫理について正確な認識を持つとともに、インストラクショナルデザインやカリキュラムデザイン等の観点から、教育目標（期待される学習成果）の設定、学習評価、教育内容、教育方法、教材作成等に関する基礎的な知識・スキルを修得し、それらの応用により、実務経験の体系化・構造化とその学問的知識との関連付けを行うことを目指します。</p> <p>【授業方法】 各学習項目に関する Web 上の動画を視聴の上、必読文献を読み（オンライン学習：1.5 時間）、各項目について、Moodle 上で小テストに解答した上で、Moodle 掲示板上で講義内容に関する疑問・考察内容等を投稿するとともに、他受講生の投稿を読み、コメントを行う（Web コメント：0.5 時間）。最後に、本科目で学んだことに関する「大学教育基礎力レポート」の作成に取り組みます（レポート：3.0 時間）。</p>	<p>【履修方法】 (1) 学習項目 1～4 は必修です。 (2) 学習項目 5～11 から少なくとも 2 つ選択し学習します。</p> <p>【成績評価方法】 受講した学習項目において、小テストで 6 割以上正解すること、Moodle 掲示板へ投稿すること、並びに、他者の投稿にコメントすることを、大学教育基礎力レポートの提出前に充たさなければならない前提条件とします。大学教育基礎力レポートの評価は、100 点満点で、チェックリストによって評価します。同レポートの評価が 60 点以上であれば、本科目は合格とします。</p>
--	---

学習項目		講師	時間	概要
1	大学教育制度論	大森 不二雄 (東北大学 教授) 杉本 和弘 (東北大学 教授)	2.0 必修	大学の歴史的発展プロセスを振り返り、現代の高等教育を特徴づける 3 つの変化について学びます。その上で、日本で進行する大学教育改革の特徴を考察し、その中で教員が担うべき主体的役割について考えます。
2	インストラクショナルデザイン	鈴木 克明 (武蔵野大学 教授)	2.0 必修	教育や研修の効果・効率・魅力を高めるための道具である「インストラクショナルデザイン (ID)」の基礎理論や具体的手法について学びます。
3	授業設計論	平岡 斉士 (放送大学 准教授) 合田 美子 (熊本大学 准教授)	2.0 必修	学習目標、評価方法、教授方法を統合的にデザインする授業設計の方法を学び、実際に授業内外の学習をいかに設計して学習者に働きかけるかについて考えます。
4	学習評価論	松下 佳代 (京都大学 教授)	2.0 必修	「学習評価」の枠組み・方法を概観した上で、特に学習成果の多様な評価方法について具体例を通して学びます。また、学生を評価の主体として育てていく必要性について考えます。
5	学生・学習支援論	岡田 有司 (東京都立大学 准教授) 佐藤 智子 (東北大学 准教授)	2.0 選択 必修	大学生の抱える心理的・発達の問題を理解するとともに、学生支援や「合理的配慮」に基づく障害学生支援について学びます。さらに、学習観が転換しつつある現代に求められる効果的な学習支援のあり方を考えます。
6	カリキュラムマネジメント	杉谷 祐美子 (青山学院大学 教授)	2.0 選択 必修	大学におけるカリキュラムの歴史的変遷や現状を踏まえ、教育目的・教育目標を実現するための「カリキュラムマネジメント」の考え方や活用方法について学びます。

7	大学における倫理	山内 保典 (東北大学 准教授)	2.0 選択 必修	知の生産・活用に携わるプロフェッショナルとして、研究上・学習上のアカデミック・インテグリティ (学術的誠実性) を身につけること、大学におけるハラスメントを防止することの大切さについて学びます。
8	教育改善論	高橋 哲也 (大阪公立大学 副学長) 緒方 広明 (京都大学 教授)	2.0 選択 必修	大学に関するあらゆる情報を収集・分析・活用する「インスティテューショナル・リサーチ (IR)」と、学習者の学習活動に関するビッグデータを収集・分析して教育改善等につなげる「ラーニング・アナリティクス (LA)」について学び、組織的な教育改善のあり方について考えます。
9	オンライン授業実践論	根岸 千悠 (京都外国語大学 講師) 浦田 悠 (大阪大学 准教授) 佐藤 浩章 (大阪大学 教授) 村上 正行 (大阪大学 教授)	2.0 選択 必修	オンライン授業は、対面授業とどう違うのでしょうか。オンライン授業やeラーニングに役立つツール・手法を用いた実践事例を紹介しつつ、オンライン授業の実践時に配慮すべき10のポイントについて学びます。
10	ICT等先端技術活用教育論	戸田 真志 (熊本大学 教授) 松葉 龍一 (東京工科大学 教授) 喜多 敏博 (熊本大学 教授) 甲斐 晶子 (青山学院大学 助教)	2.0 選択 必修	ICT等の先端技術を教育実践でどのように活用するのかについて、実際に教育現場においてSNSアプリやスマートスピーカーを用いた実践事例を紹介しながら学んでいきます。
11	実務家教員論	松井 利之 (大阪公立大学 教授) 広瀬 正 (大阪公立大学 特任教授)	2.0 選択 必修	実務家教員が必要となっている政策的・社会的要因を背景に、実務家教員の役割やその登用メリットについて学びます。さらに、先達教員の経験から、実務家教員に求められる心がけや姿勢について考えます。
大学教育基礎力レポート			3.0 必修	受講した学習項目を通して学んだことを振り返り、考察するレポートを作成・提出します。

②汎用的教育実践力科目（9時間：必修）※同期型オンライン

<p>【目的】 大学で授業を担当するために必要となる実践的な知識・スキルの修得を目的とします。</p> <p>【学習目標】 インストラクショナルデザインに基づいた授業設計と模擬授業、シラバス作成を通じて、大学教育基礎力科目で身に着けた知識・スキルを実際の教育現場で活用できるようになることを目指します。</p>	<p>【授業方法】 受講生は、学習項目1と2につき、事前学習（30分）と同期型オンライン・ワークショップ（4時間）でのワークを通して、成果物（授業計画やシラバス等）を完成させます。</p> <p>【成績評価方法】 各学習項目（各演習）受講後の成果物について、到達度をルーブリックで評価します。各学習項目を100点満点で採点し、60点以上で当該項目を合格とします。汎用的教育実践力科目を全体として合格するには、2つの学習項目の両方に合格する必要があります。</p>
---	---

学習項目		講師	時間	概要
1	授業デザイン演習1	畑野 快 (大阪公立大学 准教授) 星野 聡孝 (大阪公立大学 教授)	4.5	大学教育基礎力科目の「インストラクショナルデザイン」や「授業設計論」で学んだ基礎知識を前提に、クラスデザインシートの作成と模擬授業の実践を行うワークショップを通じて、1回の授業を設計・実施する際の基礎を学びます。 *事前学習 30分含む
2	授業デザイン演習2	畑野 快 (大阪公立大学 准教授) 星野 聡孝 (大阪公立大学 教授)	4.5	大学教育基礎力科目の「インストラクショナルデザイン」や「授業設計論」で学んだ基礎知識を前提に、シラバスを作成するワークショップを通じて、授業科目（半期15回）を設計する際の基礎を学びます。 *事前学習 30分含む

③専門領域別科目（必修 24 時間）

※同期型オンライン・対面集合型（詳細は日程表参照）

【目的】

起業時や企業での新規事業開始に当たり必要な基礎知識を学ぶとともに、それらを指導・教育するための手法や技能を習得することを目的とします。

【学習目標】

- ・ 技術マネジメントの基本的な考え方を理解し、説明できる
- ・ 事例に基づく技術マネジメントの指導力を身に付け、実践できる
- ・アントレプレナーが理解しておくべき基本的知識を理解し、説明できる
- ・アントレプレナーの育成体系を理解し、それを実践できる

【授業方法】

(1) 受講生は、学習項目 1 について、Web 上の動画コンテンツを視聴・閲覧し（オンライン学習：0.5 時間）、別途指示されるレポートの作成、その他の課題に取り組みます（事後学習：各 1.5 時間）。

学習項目 2 に関しても、Web 上の動画コンテンツを視聴・閲覧し（オンライン学習：2.5 時間）、別途指示される小レポートの作成その他の課題に取り組みます（事後学習：各 1.5 時間）。学習項目 1・2 の学習時間はそれぞれ 2 及び 4 時間となります。

(2) 学習項目 3・4 については、実践形式で実施される演習に参加し、与えられた実践課題に取り組みながら、そのコーチングスキルを講師から学ぶとともに、授業中に与えられる様々な課題や模擬指導に取り組みます。学習項目 3・4 の学習時間はそれぞれ 6 及び 12 時間となります。

【履修方法】

学習項目 1～4 は必修です。

【成績評価方法】

学習項目 1・2 については、それぞれのレポート及びその他課題について、あらかじめ設定している学習すべき要素を理解し、それが反映された記述となっているかをチェックリストを基に定量的に評価します。同様に、学習項目 3・4 については、実践演習課題の実施内容、ワークへの取組姿勢、コーチングに関するスキルの理解度をあらかじめ設定した項目ごとに定量的に評価します。合格となるためには、演習への主体的な参加（発言や行動）を通して、アントレプレナー育成の重要性を理解し、それらの教育手法を自らのものとしていることに加え、各学習項目を 100 点満点で採点し、60 点以上で当該項目を合格とします。専門領域別科目を全体として合格するには、上記の履修方法に従い、学習項目 1～4 全てにおいて合格する必要があります。

学習項目		講師	時間	概要
1	技術マネジメント基礎論	鐘ヶ江 靖史 (PwC コンサルティング)	2.0	技術マネジメントとそれに関連する知識を学習します。 ※オンライン非同期
2	アントレプレナーシップ基礎論	広瀬 正 (大阪公立大学 特任教授)	4.0	アントレプレナーに必要な基礎知識とベンチャービジネスの基本を学習します。 ※オンライン非同期
3	技術マネジメントコンサルティング演習	鐘ヶ江 靖史 (PwC コンサルティング)	6.0	科学技術の事業化・産業化の考え方・プロセスの指導・育成法を事例に基づき学ぶワークショップに参加し、講師の事例を見ながらそのコーチングスキルを習得します。グループワークでは、実践的に学生を指導する機会が与えられます。
4	ベンチャービジネスコンサルティング演習	広瀬 正 (大阪公立大学 特任教授)	12.0	事業化テーマのブラッシュアップ法を学ぶワークショップに参加し、講師の事例を見ながらそのコーチングスキルを習得します。グループワークでは、実践的に学生を指導する機会が与えられます。

④教育イノベーター実践演習科目（12時間：必修）

【目的】
 これまでに修得した大学教育基礎力並びに汎用的及び専門的な教育実践力を総合的・応用的に活用して、教育イノベーターとして授業や教育プログラム等を変革・改善して実践・運営できるようになることを目的とします。

【授業方法】
 受講生が自ら構想した新規の取組案について、①事前準備（7.0時間）、②事前指導（1.0時間）、③成果発表会・講評（4.0時間）、を行います（計12.0時間）。

【学習目標】
 実践知と学術知の往還を意識しながら自律的に構想した新規の取組案（授業、カリキュラム、プロジェクトの案等）の発表・討論を行います。

【成績評価方法】
 成果発表会での発表について、到達度をルーブリックで評価します。100点満点で採点し、60点以上で合格とします。

学習項目	講師	時間	概要
1 キャップストーン・プロジェクト	松井 利之 (大阪公立大学 教授) 星野 聡孝 (大阪公立大学 教授) 畑野 快 (大阪公立大学 准教授)	12.0	受講生が自ら構想した新規取組案について、①事前準備、②事前指導、③成果発表会・講評を行います。プログラムを通して修得した知識とスキルの統合と振り返りを行うことを通して「教育イノベーター」としての総まとめを行います。

科目の履修要件

1. 大学教育基礎力科目の必修科目の内、学習項目2「インストラクショナルデザイン」、学習項目3「授業設計論」、学習項目4「学習評価論」は汎用的教育実践力科目の受講開始日（9月28日）の前日までに履修完了する必要があります。
2. 専門領域別科目の受講を開始する前日までに、大学教育基礎力科目（15時間）を履修完了する必要があります。

科目 日程	大学教育基礎力科目	汎用的教育実践力科目	専門領域別科目	教育イノベーター 実践演習科目
7月25日	受講開始			
8月	学習項目1～4の履修、 学習項目5～11から2つ以上を履修	[大学教育基礎力科目] 学習項目2・3・4の履修完了が必要		
9月		↓ 学習項目1	大学教育基礎力科目の履修完了後に開始	
10月	レポート提出	↓ 学習項目2 ↓ レポート提出	↓ 学習項目1・2を履修完了	
11月			↓ 学習項目3(Day1・Day2) 学習項目4(Day1～Day4)	
12月			↓ レポート提出	
1月				学習項目1 (事前準備、事前指導、 成果発表会・講評)
2月・3月				
修了認定、3月までMoodle接続可能				

2024 年度プログラム日程表

科目	実施日（期間）	時間帯	時間	学習項目	実施方法
	7月27日（土）[なんば]	13:30-15:00		オリエンテーション	対面
大学教育基礎力科目	7月25日（木）～ 10月4日（金）		2h	1 大学教育制度論	オンライン （非同期）
			2h	2 インストラクショナルデザイン	
			2h	3 授業設計論	
			2h	4 学習評価論	
			2h	5 学生・学習支援論	
			2h	6 カリキュラムマネジメント	
			2h	7 大学における倫理	
			2h	8 教育改善論	
			2h	9 オンライン授業実践論	
			2h	10 ICT等先端技術活用教育論	
			2h	11 実務家教員論	
	10月4日（金）17:00 締切厳守		3h	大学教育基礎力レポート	レポート提出
備考：学習項目1～4は必修。学習項目5～11から少なくとも2つ選択して学習。					
実践力科目	9月28日（土）	13:00-17:00	4.5h	1 授業デザイン演習1	オンライン （同期）
	10月19日（土）	13:00-17:00	4.5h	2 授業デザイン演習2	
備考：学習項目1・2は、各30分程度の事前学習あり。演習は全てリアルタイム配信で実施。					
専門領域別科目	大学教育基礎力科目 終了後 ～11月4日（月祝）		2h	1 技術マネジメント基礎論	オンライン （非同期）
			4h	2 アントレプレナーシップ基礎論	
	11月5日（火）[中]*1 11月19日（火）[中]*1	15:00-18:15	6h (3×2)	3 技術マネジメントコンサルティング演習	ハイブリッド （対面・オンライン同期）
	11月6日（水）[中]*1 11月16日（土）[なんば] 11月27日（水）[中]*1 12月7日（土）[なんば]*2・ 12月14日（土）[なんば]*2	15:00-18:15	12h (3h×4)	4 ベンチャービジネスコンサルティング演習	
	備考：学習項目3・4は対面かオンライン同期のいずれかを選択。*1の回は各1回以上の対面参加が望ましい。				
実践演習科目	2025年 1月11日（土）[なんば]・ 1月12日（日）[なんば]*3	10:00-13:00 14:30-18:30 （1月12日は 16:30まで）	12h (7+1+4 h)	1 キャップストーン・プロジェクト 成果発表会	ハイブリッド （対面・オンライン同期）
	備考：上記日程は同期による成果発表会の日時。事前学習等についての詳細は別途案内する。				

[なんば]…大阪公立大学 I-site なんば 大阪府大阪市浪速区敷津東 2-1-41 南海なんば第1ビル

[中]…大阪公立大学 中百舌鳥（なかもず）キャンパス 大阪府堺市中央区学園町1-1

*1 大学院共通教育科目「イノベーション創出型研究者養成」と合同実施（いずれも中百舌鳥キャンパスの予定）

*2 受講者数によっては12月7日のみ開催し、12月14日は開催しない。

*3 受講者数によっては1月11日のみ開催し、1月12日は開催しない。

特別セッション（任意参加）

セッション名	実施日	内容	実施方法
講師 QA セッション	1回目：8月中旬 2回目：9月下旬	Moodle 上での大学教育基礎力科目の学習をサポートするため、講師とのQAセッションおよび受講者交流会（参加任意）を開催いたします。QAセッションでは、講師に直接質問する機会が得られます。また、会の後半では受講者交流会として受講者との交流の機会があります。	オンライン 同期